

# ■ 協力して育つ 共に育つ 響いて育つ 子どもの夢育て (笠縫小学校)

## 1 【活動の趣旨】

本校は、「自育」「和協」「勤儉」を校訓に、また、「夢と笑顔いっぱい 生き生き学ぶ笠縫の子」をめざす子ども像として、温かく協力的な地域の方々の支えを得ながら教育活動を進めている。地域の方との活動を進めていくにあたり、「栽培体験合校」「地域の人と学ぶ合校」「読書推進合校」「地域安全・学校安全合校」の4つを柱に据え、それぞれの活動において地域の方々の指導や支援をいただき、実施している。

## 2 【特徴的な活動内容】

### ○栽培体験合校

人権の花「サルビア」を育てる活動に人権福祉委員会が取り組み、種まきから定植まで多くの地域ボランティアの方にお世話になった。種から発芽、苗の育成については、米作りでもお世話になっているボランティアの方にしていただいた。人権福祉委員会の子どもたちで育てたサルビアのプランターをまちづくりセンターや幼稚園に届けた。



【栽培体験合校】

### ○地域の人と学ぶ合校

笠縫学区の民生委員児童委員さんが中心となって、学区の記憶絵を作成していただいた。3年生の社会科の「昔の暮らし」の学習で学区の昔の様子を話していただいた内容をもとに、地域にまつわる昔話や、小学校周辺の様子などを子どもたちは調べて学習した。



【地域の人と学ぶ合校】

## 3 【実施に当たっての工夫】

地域のよさを感じたり学校や校区のことを詳しく調べたり、校区の人たちの生き方や温かさに触れたりするような活動を大切にしていきたいと考え、教科等との連携をふまえ、活動を仕組んでいる。

## 4 【事業の成果】

コーディネーターの方をはじめ、継続してボランティア活動に取り組んでいただいている方が多く、教員以上に活動を把握されており、主だった活動にスムーズに取り組むことができている。また、民生委員児童委員さんのように、進んでアイデアを出していただくこともあり、地域の子どもたちの育ちに自分たちも積極的に関わっていこうとされる方も見られるようになってきた。

## 5 【事業実施上の課題】

継続してボランティア活動に取り組んでいただく方が多いものの、一方で新たな人材を見出していくことが課題である。ボランティアの講師の方の高齢化が進んでおり、若い世代や子育て世代のボランティアに世代交代していくことが大きな課題である。